

Minna no Nihongo

みんなの日本語
初級 第2版

やさしい作文 さく ぶん

門脇 薫・西馬 薫 [著]



スリーエーネットワーク



みんなの日本語

初級 第2版

Minna no Nihongo

やさしい作文

門脇 薫・西馬 薫 [著]

スリーエーネットワーク

©1999 by Kadowaki Kaoru and Nishiuma Kaoru

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, stored in a retrieval system, or transmitted in any form or by any means, electronic, mechanical, photocopying, recording, or otherwise, without the prior written permission of the Publisher.

Published by 3A Corporation.

Trusty Kojimachi Bldg., 2F, 4, Kojimachi 3-Chome, Chiyoda-ku, Tokyo 102-008,
Japan

ISBN978-4-88319-690-6 C0081

First published 1999

Second Edition 2014

Printed in Japan

はじめに

本書は初級の学習者を対象に、早い段階からあるテーマについてまとまりのある文章が書けるようになることを目的として作られたワークブックです。

従来、初級段階での作文練習は、既習の語彙や文型を使用した短文作成練習が中心となることが多かったと思います。しかし、習ったことの総まとめとして、学習者に、ある身近なテーマについて自由に作文を書いてもらおうと、短文を羅列しているだけで意味のわかりにくいものが多く見受けられます。それらは、全体的な構成という談話の視点から書かれていないからです。

この作文ワークブックでは、このような全体的な構成のパターンをフローチャート及びモデル文によって学習者が理解できるようになることを目的にしています。作文練習を単なる短文レベルの文型定着のための練習で終わらせるのではなく、学習者が自ら談話展開を意識し、中級段階の作文につなげられるよう工夫されています。指導の際には、細かい語彙や文法に関する誤用訂正のみに終わるのではなく、内容を重視し、談話展開についても指導を行ってください。

〈特徴〉

- ・ フローチャートによって、一目で全体的な構成がつかめる。
- ・ 各ユニット内で順に書き進めていけば、負担を感じずにあるテーマについてまとまりのある文が書ける。
- ・ 様々なテーマで何度も書いていくうちに、全体的な構成について意識化できるようになる。
- ・ まとまりのある文を書くスキルを身につけることによって、スピーチや読解にも応用できる。
- ・ 初級段階から、全体的な構成に気をつけて書く訓練をすることによって、中・上級段階の作文練習への移行がスムーズになる。
- ・ 初級テキスト『みんなの日本語 初級Ⅰ・初級Ⅱ 第2版』（スリーエーネットワーク）の語彙・文型の提出順序に準拠しているが、幅広く初級での作文練習に使える。

〈構成・内容〉

初級段階で扱えるような身近なテーマを20項目選びました。ユニット1から15までの基礎編（『みんなの日本語 初級Ⅰ・初級Ⅱ 第2版』第50課まで）、ユニット16から20までの応用編（中級につなげる意見文などを書く練習）の2段階になっています。

各ユニットは、次のような構成になっています。

(1) フローチャート

各テーマの始めに、展開パターンをフローチャートで示してあります。このフローチャートによって、モデル文を提示する前に、学習者に文全体の流れを視覚的に示すことができます。初級前半では、大まかな3つの枠「全体に関する記述→具体的な内容→全体に関するコメント」の展開パターンを用い、テーマごとに具体例を挙げて、談話展開を意識化させることを目的にしています。

初級後半のテーマについては、3つの枠の談話展開は必ずしも「全体に関する記述→個別の事柄→全体に関するコメント」ではなく、他のパターン例「事実→具体的な内容→意見」という意見文のパターンもフローチャートに示してあります。

(2) モデル文

フローチャートの枠にあてはめて、具体的にテーマについてのモデル文を提示しました。談話展開を意識させるために、3つの枠で囲んであります。モデル文は読解練習ではなく、談話の展開パターンを示すものなので、短く簡単に示してあります。特に、使える語彙・文型が限られている初級前半の段階では、モデル文を参考にしながら自分のことを書くことができるよう考えられています。

(3) 作文のポイント

ここでは、モデル文中に提示された文法項目から、特に短文レベルの文型練習では扱われにくい談話レベルの文法事項をいくつか取り上げています。但し、これらはモデル文中に出てくる文法事項であり、各ユニットのテーマに沿って書く場合、必ずしもそこで提示された文法事項を使って書かなければならないというものではありません。作文を書く場合の談話レベルの留意点を練習問題にし、全テーマを通してまとめたものです。

(4) 関連語彙・みんなで話しましょう

ユニット1～4、6では関連語彙を示し、ユニット5、7～14、16～20では教室活動「みんなで話しましょう」を提示しました。「みんなで話しましょう」ではテーマについて、実際に作文を書く前に学習者同士で質問し合ったり、意見交換をしたりすることによって、動機づけを図ることを目的としています。

(5) 作文メモ

作文メモは、「書きましょう」で実際に学習者が作文を書くための準備になっています。

教師はこの段階で、学習者に必要な語彙を補足したり、文法的な誤りを訂正したりすることができます。

ここでは、3つの枠でそれぞれ中心となる文を簡単に書かせ、全体的な構成を考えさせます。そして、次の「書きましょう」では、このメモを参考にして、内容をふくらませて清書させます。

(6) 書きましょう

授業で書いても、宿題として書いてもかまいません。提出用に切り取って使えるようになっています。書いたあとで、学習者同士で読み合ったり、教室に掲示したりしてもよいでしょう。また、スピーチ練習の原稿としても使用できます。

別冊

フローチャート・新出語彙の翻訳（英語・中国語・韓国語）

作文のポイントの問題解答

この教材をお使いになる先生方へ

教師用マニュアル

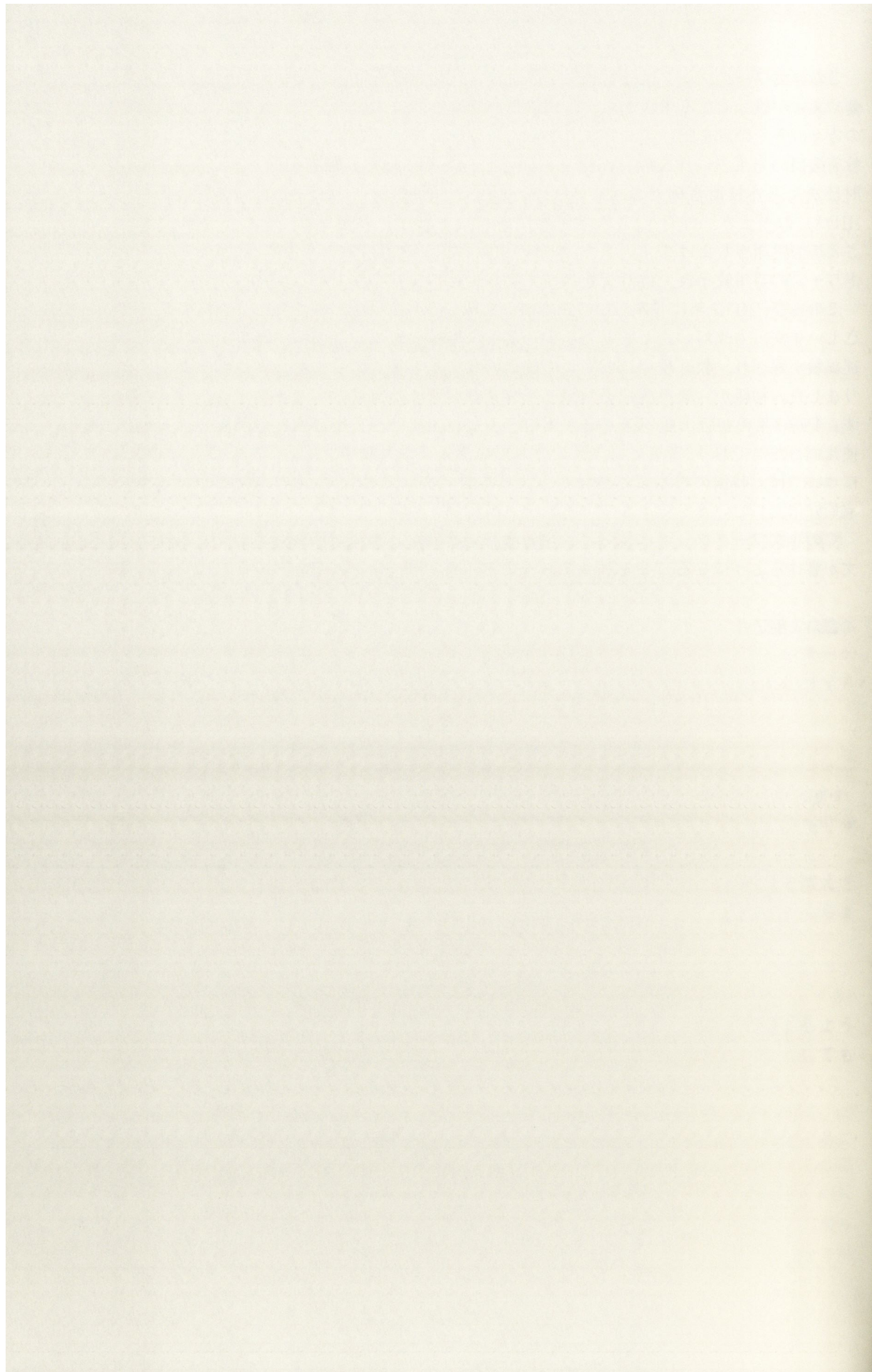
この作文ワークブックは、「初級でどのように作文指導を行ってよいかわからない」「語彙や文法が難しくなる中級から、作文の構成を習うのは大変だ」という教師及び学習者の方々の多くの声を聞いて、作成しました。ワークブック作成にあたり、多くの日本語教育機関の先生方に作文教材試行をお願いし、たくさんのご助言を頂きました。特に、財団法人海外技術者研修協会（AOTS）（現 一般財団法人海外産業人材育成協会：HIDA）の先生方、神戸YMCA学院専門学校日本語学科の先生方、そして学習者の皆さんにも感謝申し上げます。また、本書の出版および改訂にあたっては、スリーエーネットワークの菊川綾子氏、佐野智子氏に大変お世話になりました。

このたび、2012年に『みんなの日本語 初級』の第2版が出版されたことにより、『やさしい作文』も改訂いたしました。1999年に本書を出版した後に、日本留学試験で記述試験が課され、教育現場においても論理的な文章を書く必要性が強調されるようになりました。初級から談話展開を意識して作文練習をする重要性がますます高まっています。1999年の初版出版以来、日本国内のみならず海外の日本語教育機関においてもご使用いただいております。著者として大変うれしく思っております。初版の『やさしい作文』については、韓国の時事日本語社から「日本語作文테크닉」、台湾の大新書局から「大家写好作文」というタイトルで、それぞれ韓国版、台湾版が出版されています。

この作文ワークブックによって、学習者の皆さんが、初級段階から楽しく、気軽に作文が書けるようになることを願っております。

2014年7月

門脇 薫
西馬 薫



がくしゅうしゃ みな 学 習 者 の 皆 さ ん へ

この作文ワークブックは、文章の構成に注意しながら、あるテーマに沿って自分の表現したいことを書く練習をするための教材です。

テーマは皆さんにとって身近なものを20選びました。初級の語彙や文型を使って、様々なテーマで簡単に作文を書くことができます。文法などのまちがいを恐れずに自分の言いたいことを書いてください。最初は短くてもいいですから、何度もいろいろなテーマで書いて、言いたいことをうまく表現できる文章の構成パターンに慣れましょう。

この教材を使って書いた作文は、日本語でスピーチをするときにも役に立つでしょう。

きょうざい こうせい <教材の構成>

【基礎編】ユニット1～15：『みんなの日本語 初級Ⅰ・初級Ⅱ 第2版』第1課から第50課までの語彙・文型を使っています。

【応用編】ユニット16～20：中級レベルに入るまえの応用練習です。

かく こうせい <各ユニットの構成>

フローチャート

ぶん ぜんたいてき こうせい しめ
文の全体的な構成を示しています。



モデル文

か ぶん さんこう
書くときの参考にしてください。



作文のポイント

うまく ぶん かく
うまく作文を書くためのワンポイントアドバイスです。



関連語彙

か ぶん さんこう
書くときの参考にしてください。

みんなで話しましょう

テーマについてほかの友達と話してみてください。



作文メモ

ないよう こうせい かんが した が よう つか
内容や構成を考えるためのメモです。下書き用として使ってください。



書きましょう

じっさい か かい たら その ページ を 切り 離
実際に書いてみてください。書いたらそのページを切り離して、先生に出してください。さあ、書いてみましょう！

* このワークブックは『みんなの日本語 初級Ⅰ・初級Ⅱ 第2版』に準拠して作った教材ですが、ほかの教科書で勉強している方でも使えます。

To the Learner

This workbook has been designed so that the learner can practice expressing him/herself in written Japanese. The learner is expected to write correctly on the given themes paying attention to sentence structure.

The 20 themes in the book have been selected for their familiarity to the learner. Using basic vocabulary and sentence patterns, you will be able to write simple sentences on various themes. Try to write what you really want to say without worrying about making grammatical mistakes. It is fine to start by writing only short sentences. Remember that the more you write on various themes, the better you will become at writing and expressing yourself within a set structure.

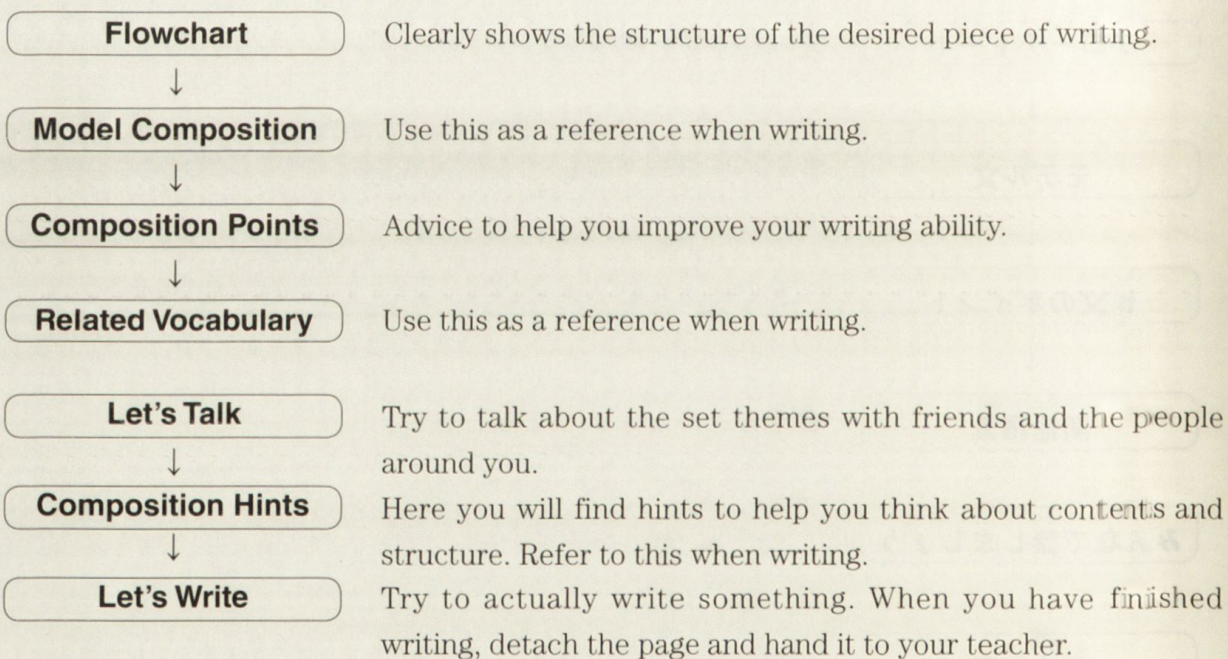
The language and structures found in this text will also be useful for speeches.

Textbook Structure

Basic Practice - Units 1-15: Uses the vocabulary and sentence patterns found in Chapters 1-50 of *Minna no Nihongo I and II Second Edition*.

Practical Application - Units 16-20: Involves practical application at a level equal to the beginning of the intermediate stage.

Structure of Each Unit:



* This workbook has been produced to be used in conjunction with *Minna no Nihongo I and II Second Edition*; however, it can be used with other textbooks.